



北を変えるのは北の国民

核実験、ロケット発射と北朝鮮の行動は常軌を逸している。これに対し、制裁強化が声高に叫ばれる。

そこで、七六年前の日本を振り返ると……

一九三三年の満州侵攻等、日本軍の中国侵略を国際連盟は非難。米国は侵略をやめるよう対日石油禁輸の制裁。これに対抗、天皇率いる軍部は太平洋戦争を始めた。

人物往来を拡げたら

制裁の逆に北朝鮮との交流、人物往来を拡げたらどうか？日本や韓国の情報がどんどん北に入る。食糧支援を仰いでいるのに「核実験成功」を叫ぶアナウンサーはピエロに見えるだろう。

往来を停止すると

制裁強化は一九四一年当時のように戦争に繋がらないか？

貿易を止め、往来停止で外国の情報は北の国民には伝わらない。

外国の情報が無い中で、金正恩は米国への対抗に国民を駆りたてる。対米開戦時の東条英機のように。

もし開戦なら「巡航

れますか？

日本人が北のあちこちに行けば、拉致被害者の情報も入るだろう。訪問した日本人の所に拉致被害者が駆け込むこともあり得る。

金正恩の支配がおかしいことは北の国民全てが理解する。そうなれば、北の国民の手により金王朝に終止符が打たれるだろう。

みなさんはどう思われますか？

吉野川

徳島県徳島市

二〇一六年二月



吉野川は日本三大暴れ川の一つと云われる。「坂東太郎」の利根川、「筑紫次郎」の筑後川に次ぎ「四国三郎」と並び称される。

この川は四国の四県全てを流れる。長さでは四十万十川にトップを譲るが、流域面積では四国随一。

愛媛県と高知県の境にある標高一八九六mの瓶ヶ森から流れ出る。一部の支流は愛媛県や香川県を流れ下る。

この絵を描いた場所は河口から三キロの右岸。吉野川大橋のたもと。ここで川幅は一・二キロある。利根川の河口近く銚子大橋の川幅は約九五〇mだから広さが分かる。

絵に見えるのは国道十一号線の吉野川橋。背景に見えるのは讃岐山脈の東の端。